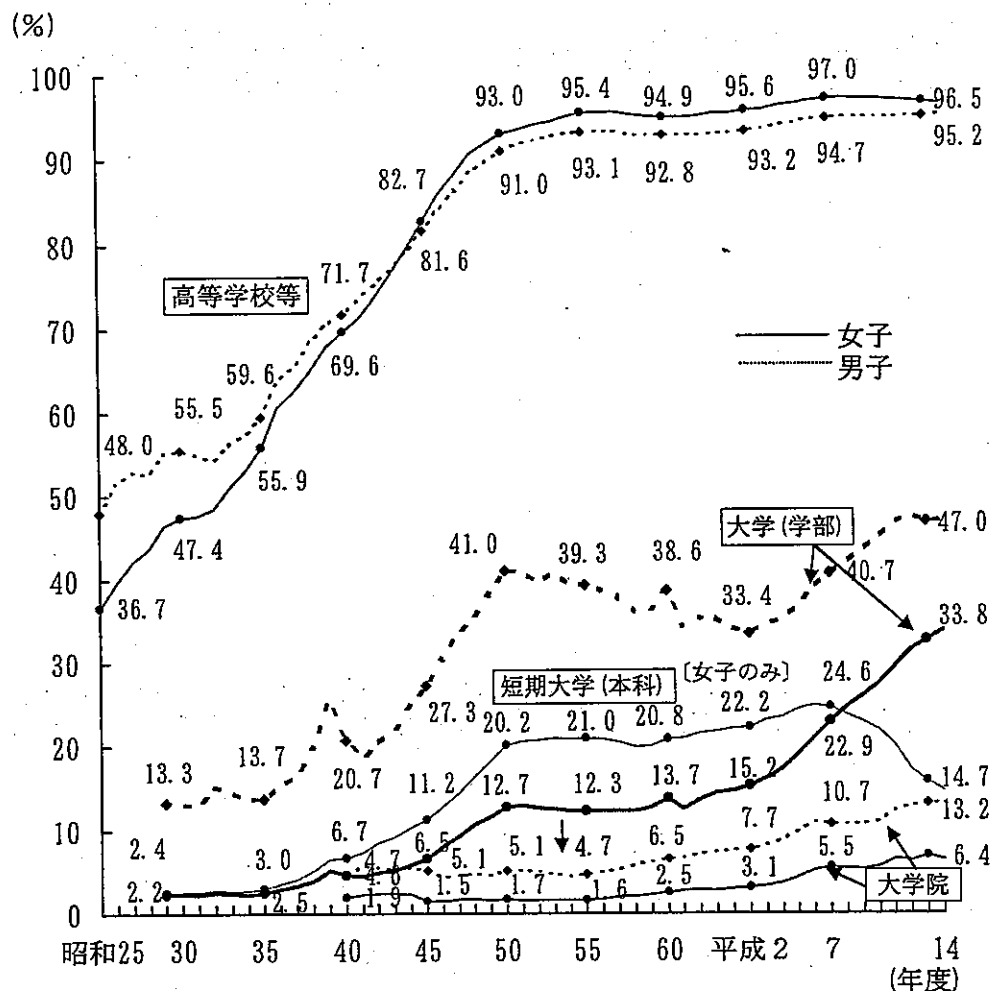


男性の大学学部への進学率は近年上昇傾向にあり、平成14年度で女性33.8%、男性47.0%と差が見られるが、女性では短期大学への進学率を合わせた進学率は47.0%となる。また、女性の大学院進学率は、6.4%と過去最高になっている。

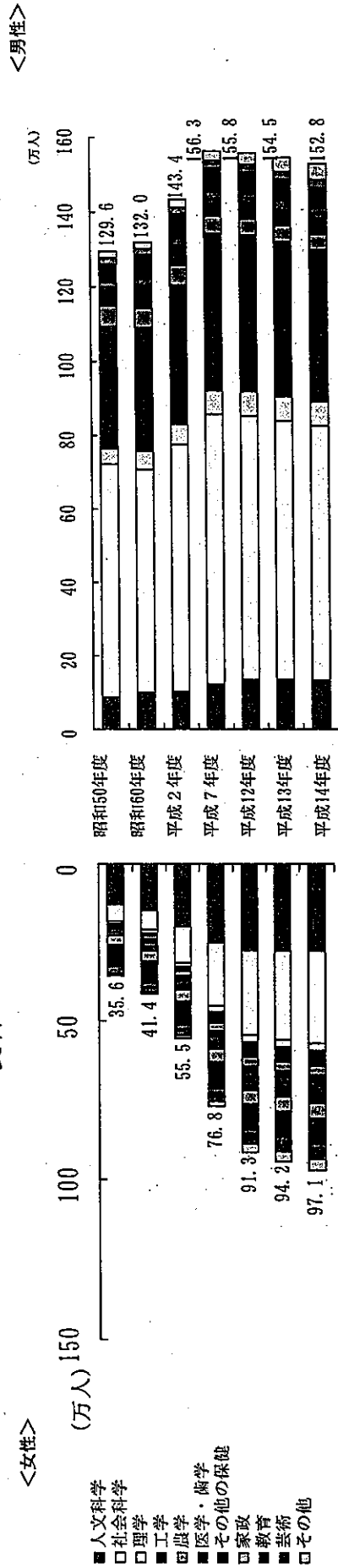
資料 37 学校種類別進学率の推移



注：(1) 高等学校等：中学校卒業後及び中等教育学校後期課程修了者のうち、高等学校等の本科・別科、高等専門学校に進学した者（就職進学した者を含み、浪人は含まない。また、高等学校の通信課程（本科）への進学者を除く。）の占める比率。
 (2) 大学（学部）・短期大学（本科）：浪人を含む。大学学部・短期大学本科入学者数（浪人を含む。）を3年前の中学校卒業後数で除した比率。
 (3) 大学院：大学学部卒業者のうち、ただちに大学院に進学した者の比率（医学部、歯学部は博士課程への進学者）。
 資料出所：文部科学省「学校基本調査」

大学学部における学生の専攻分野構成は、女性はまだに人文科学を専攻する割合が高いが、昭和50年と比較すると、大学学部で人文科学の割合が減る一方で、社会科学や工学の割合が増加するなど専攻分野は広がっている。

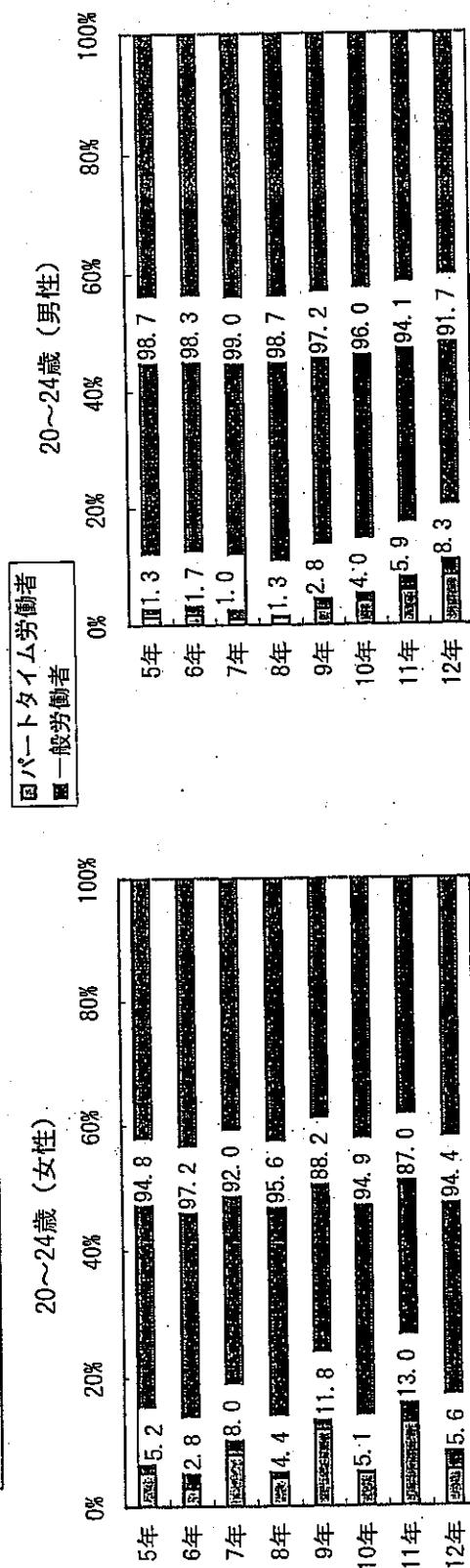
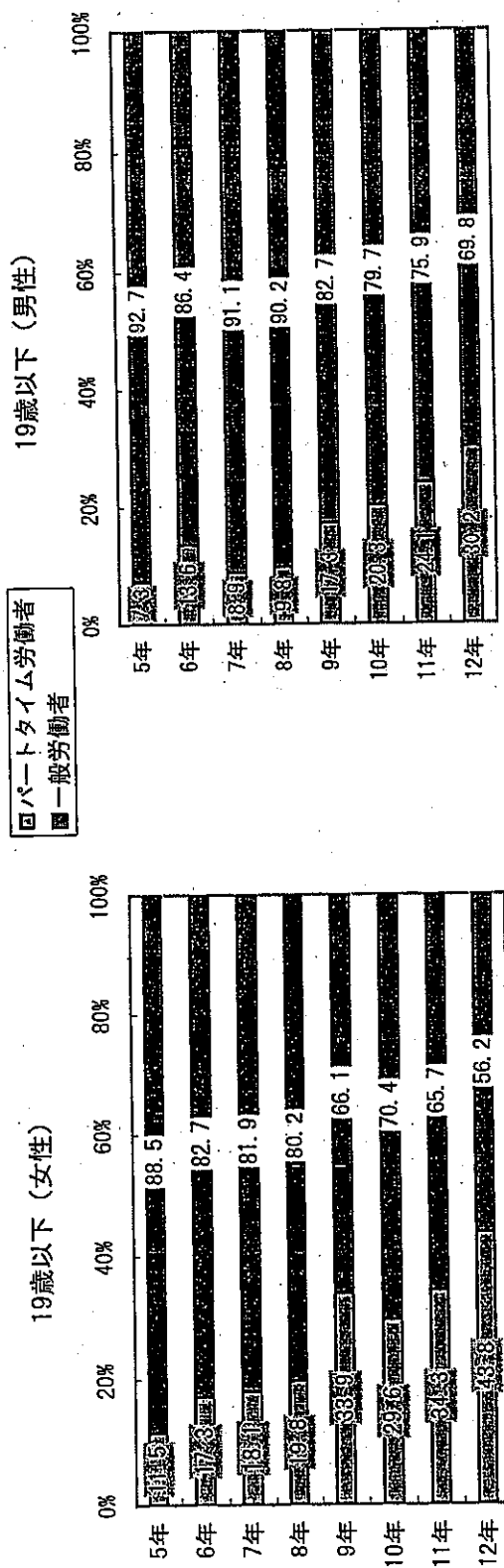
資料 38 専攻分野別にみた学生数（大学学部）の推移



資料出所：文部科学省「学校基本調査」

高卒者に該当する19歳以下の入職者（学卒未就業者）の就業形態は、特に女性でパートタイム労働者の割合が
大きく増加しており、43.8%となっている

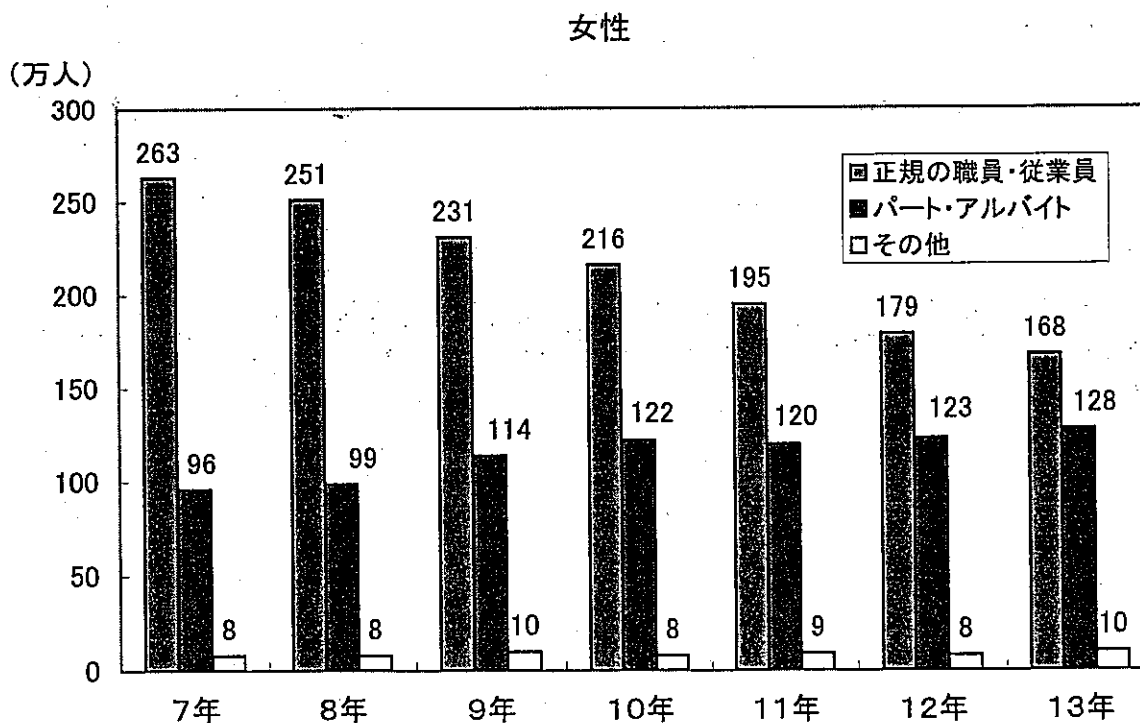
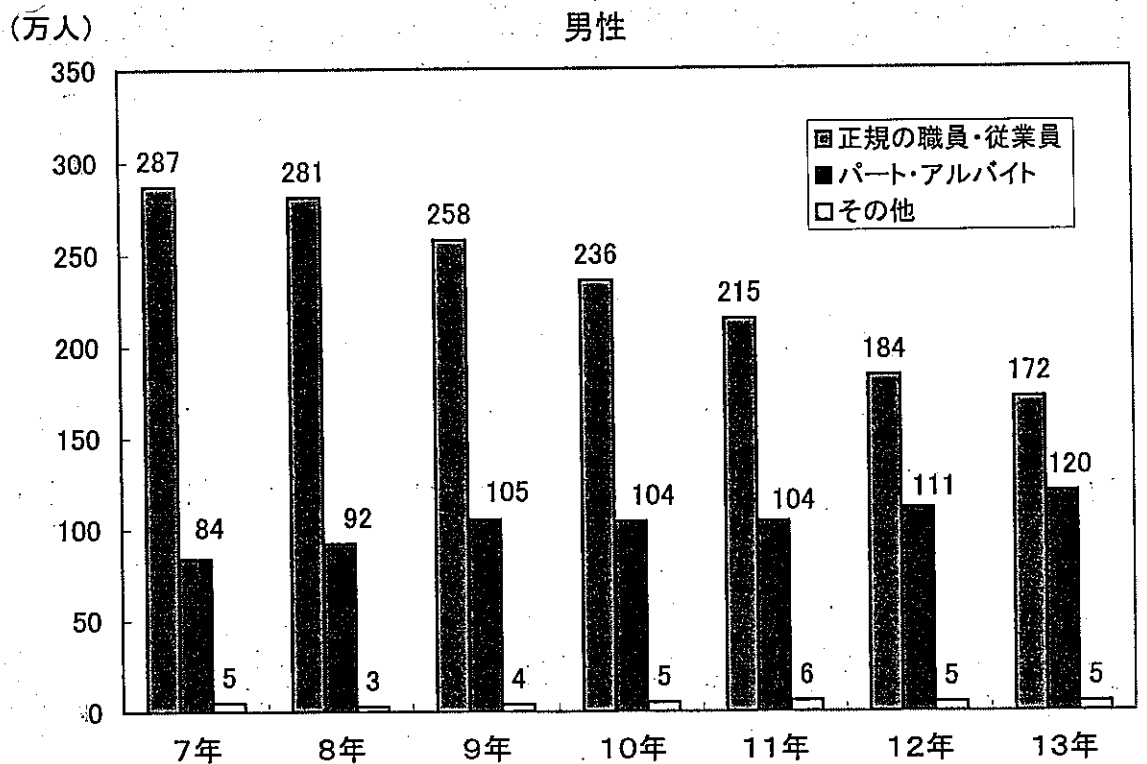
資料 39 学卒未就業者の入職比



資料出所：
厚生労働省
「雇用動向調査」

15～24歳層の若年雇用者の割合を見ると、男女ともに、パート、アルバイトが増加し、正社員以外の就業形態が4割を占めるようになった。

資料 40 15～24歳の雇用者の就業形態別構成比

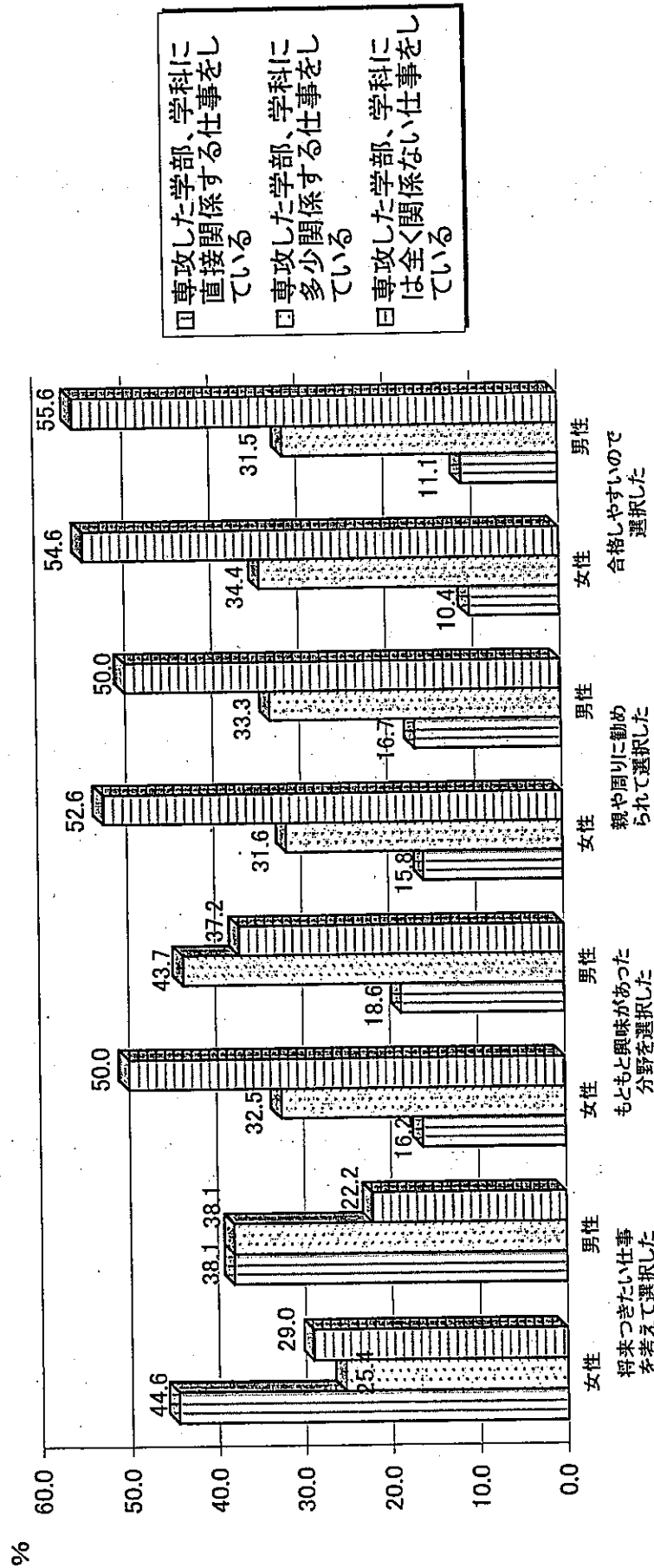


資料出所:総務省統計局「労働力調査特別調査」

注)在学中を除く。

「将来つきたい仕事を考えて選択した」という者は、選考した学部、学科に直接関係する仕事をしている者が多く、大学の学部、学科を「合格しやすいので選択した」、「親や周りに勧められて選択した」という者は専攻した学部、学科には全く関係ない仕事をしている者が多くなっている。

資料 41 4年制大卒男女、現在の仕事と大学等での学部・学科の選択理由との関連



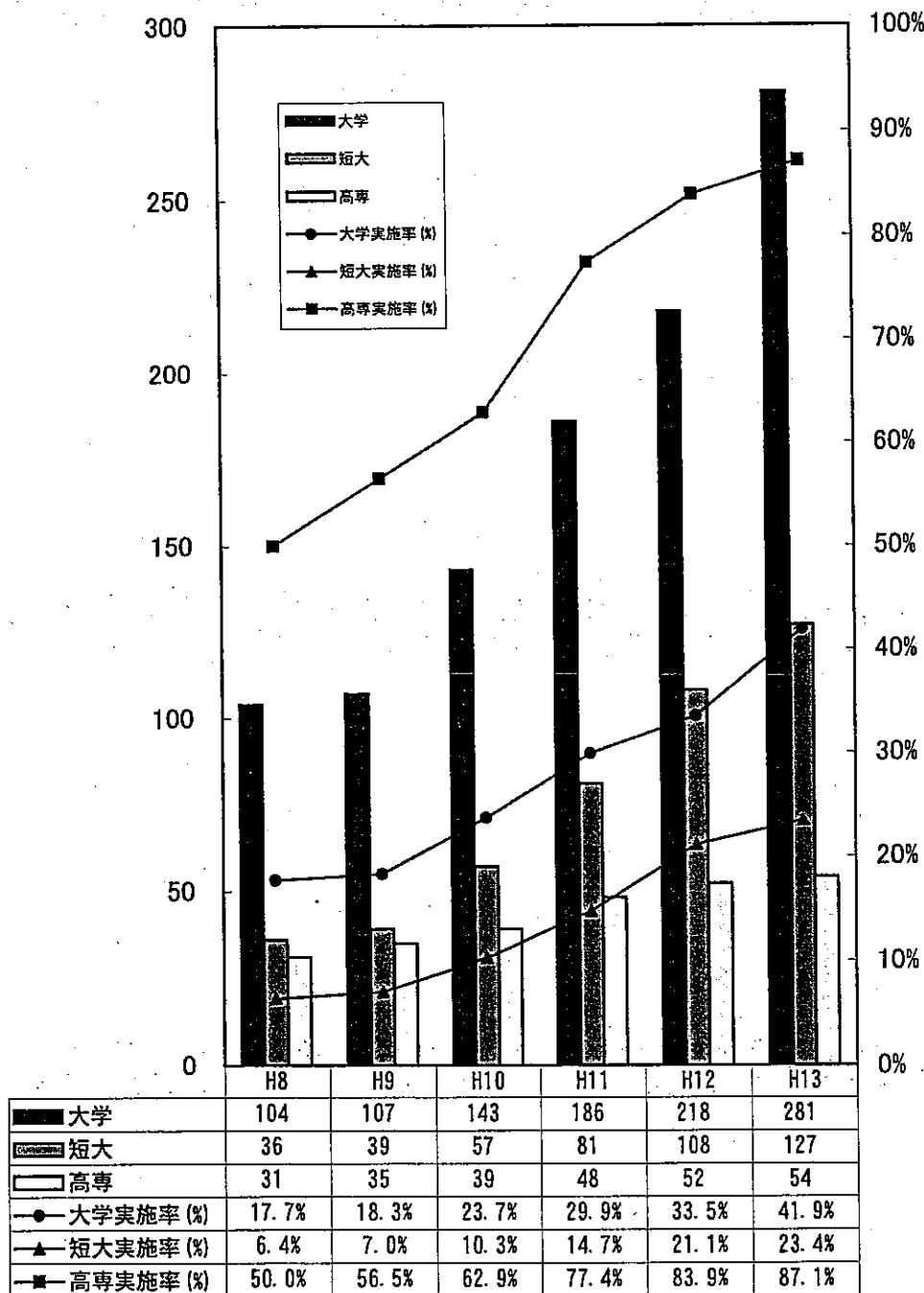
資料出所：21世紀職業財団「新規大卒者の就職活動等実態調査」（平成13年）

インターンシップを授業科目として位置付けて実施する学校は増えてきている。

資料 42 インターンシップ実施状況

学校数 (校)

実施率 (%)



資料出所：文部科学省「大学等における平成13年度インターンシップ実施状況調査結果について」（平成14年7月）